2．金融商品の時価等に関する事項

期末時における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時　価	差　額
⑴　現金及び預金	1,954,841	1,954,841	—
⑵　未払金	(795,496)	(796,377)	(881)

㈱　負債に計上されているものについては、(　) で示しております。

㈱　金融商品の時価の算定方法

⑴　現金及び預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑵　未払金

短期間で決済されるものについては、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっており、リース取引に該当する部分については、元利金の合計額を新規に同様のリース取引を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法により算定しております。

（賃貸等不動産関係）

当法人は天伯地区に寄宿舎等を有しております。これらの賃貸等不動産の貸借対照表計上額、当期増減額及び時価は次のとおりであります。

（単位：千円）

貸借対照表計上額			当期末の時価
前期末残高	当期増減額	当期末残高	
1,714,098	△　45,898	1,668,200	1,258,000

（注１）　貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額を控除した金額であります。

（注２）　当期増減額の内訳は次のとおりであります。

取得等による増加（国際交流会館等）　11,594千円

減価償却による減少（学生寄宿舎等）　57,492千円

（注３）　当期末の時価は、不動産鑑定士に依頼して算定された金額であります。

また、賃貸等不動産に関する当事業年度における収益及び費用等の状況は次のとおりであります。

（単位：千円）

賃貸収益	賃貸費用	その他（売却損益等）
95,316	132,267 (42,494)	—

㈱　損益外減価償却相当額については、内数として（　）内に記載しております。

（重要な債務負担行為）

（単位：千円）

件名	契約済額	平成24年度以降支出予定額	平成23年度支出決議済額
横型薄膜形成装置	54,705	54,705	—
事務局他便所改修その他工事	44,993	26,996	17,997
事務局等改修機械設備工事	33,075	19,845	13,230

（東日本大震災復旧・復興対応関係）

被災した学生の就学機会確保のため授業料等免除事業を実施しました。

授業料等の減免にあたっては，平成23年度補正予算（第３号）による予算措置を受けております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

附　属　明　細　書

⑴　固定資産の取得及び処分、減価償却費(「第84　特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第89　資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)並びに減損損失の明細

（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	11,727,256	24,347	0	11,751,603	3,770,789	489,617	—	—	—	7,980,814	
	構築物	399,198	3,441	0	402,639	259,502	21,096	—	—	—	143,137	
	機械装置	3,325	—	—	3,325	3,134	535	—	—	—	191	
	工具器具備品	696,624	—	6,411	690,213	574,726	56,818	—	—	—	115,487	
	計	12,826,403	27,788	6,411	12,847,780	4,608,150	568,067	—	—	—	8,239,630	
有形固定資産（特定償却資産以外）	建物	871,579	172,511	—	1,044,090	225,304	60,354	—	—	—	818,786	
	構築物	97,488	12,114	—	109,601	14,107	6,273	—	—	—	95,495	
	機械装置	171,849	—	2,129	169,720	144,623	8,462	—	—	—	25,097	